

謹賀新年



大磯町長
中崎久雄

「新年あけましておめでとうございませう。」

本年が町民の皆さんにとって希望に満ち、輝く年になりますことを、心よりお祈り申し上げます。

大磯町は、本年、国府町と合併し、60周年の節目の年を迎えます。これまで先人が築き上げてきた歴史や文化を振り返り、感謝するとともに、さらなる発展と飛躍の契機とするため、町民の皆さんと一緒に、協働の精神により、夢や希望に満ちた、未来へとつながる一年にしたいと思っています。

私の一番の願いは、町民の皆さんの「身体」と「心」が共に「健康」な状態で生活できる町に大磯町がなっていくことであります。町長に就任して、健康づくりや予防の重要性を皆さんと一緒に考え、取り組んでいきたいため「おあしす事業」をスタートしました。最初は、馴染みのない言葉でもありましたが、今では多くの方々に参加いただき、「おあしす」と言えば「健康」を表すまで、町民の皆さんに浸透

していただいております。

この健康づくりや予防を人間の体だけではなく、大磯町にもあてはめ、大磯町を様々な面で「健康」にしていかなければならないと思っています。

町の財政状況は、税収の伸び悩みや社会保障費の増大等、依然として厳しい状況が続いておりますが、皆さんと一緒に様々な面で大磯町を「健康」にしていく取組みを進めていく決意であります。

そのため、昨年の2月に、神奈川県から認定をいただきました「新たな観光の核づくり」による経済の活性化をはじめ、将来を担う子どもたちのための環境づくりなど、全力を尽くし、健全な財政運営、町政運営を進めてまいりますので、引き続き、皆さまのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年がすべての皆さまにとって、希望に満ちた年となるよう心から祈念いたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。



大磯町議会議員
奥津勝子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新しい年を迎えるにあたり、多くの方々が「今年も元気で、今年も元気で」と、またそれぞれの一年の計に想いを巡らせていただけることと思います。いよいよ、この4月から消費税が8%になり、私たちの生活設計には変化が出てきます。

さて、議会と行政は「車の両輪の如く」といいますが、共に目指すのは、町民が幸せになるための地方自治の在り方であると思っております。

議会は、議決（意思決定）機関であると同時に、執行機関を監視・評価する機関でもあります。その役割を発揮するために、議会の審議内容を報告し、町民の皆様の声（ご意見・ご要望）を聴く機会として、議会報告会を開催しております。また、団体の方々のご意見をお聴きする一般議会も実施しており、「開かれた議会」としての取り組みを今後にも充実させて参ります。

議会の指針となる大磯町議会基本条例を制定してから4年が経過しました。今では先進議会として、全国から視察研修を多

数受入れております。

議会では、昨年7月の臨時議会において議会構成が変わり、常任委員会ごとに「自然エネルギー政策」「子育て支援政策」等テーマを決め、調査・研究を進めています。その内容が大磯町にとってどう活かされるか、議会の審議等さまざまな機会を捉えて行政へ質していくと共に、政策提言ができる議会を目指していきます。

26年の町の大きな動きとして、大磯駅前の土地に駐輪場を整備し、土地を有効活用する事業があります。また、「山」「邸園」「海」の3圏を中心とした新たな「観光光町・大磯」への事業も進みます。おもてなしの心意気をここかしこに感ずることができ、協働によるまちづくりに大いに期待するとともに、議会としての役割を果たして参ります。

本年も町民のために働くことを議会一丸となり励んでいく所存であります。

皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。